

令和2年11月24日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 溝 部 幸 基 ㊞

研修成果報告書

福島町議会議員の研修に関する条例第7条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修日時 令和2年11月13日(金)
午後1時00分～午後4時00分
- 2 研修先 松前町「松前町町民総合センター」
- 3 研修目的 令和2年度松前町議会・渡島西部町議会議員合同議員
研修会参加のため
- 4 成 果 別紙のとおり

【研修会講演内容】

- ・「みんなで考える町村議会～町村議会の現状と取り組み」

講師 全国町村議会議長会 総務部長 三宅 達也 氏

・「みんなで考える町村議会～町村議会の現状と取り組み」

講師 全国町村議会議長会 総務部長 三宅 達也 氏

平成23年度渡島町村議長の議員研修会で「地方自治法改正と地方議会の取り組み」と題し講演を聞いて以来、久々でしたが、三宅さんらしく丁寧な説明で、資料を見ながら、しっかり話を聞いていると、基本的な復習として、あらためて議会議員の役割・国の動向・議長の対応等を確認し、住民視点にたった議会活性化の課題が自覚でき、今後の議会活動に反映させることが期待されるものと思われませんか？

平成23年度の研修会は、平成合併が平成22年3月で一区切りし、「合併推進」から「合併の円滑化」へ大きくシフトしたことを受けて、地方分権改革の進展と地方行財政制度の窮状など地方自治体を取巻く背景は、大きな転換期を迎え、住民の信頼に応えるために議会の役割が益々重要となっている中で、新たな時代を担う市町村議会議員としての資質向上を図ることを目的としたものでありましたが、この間の各議会・議員の成果を推察すると、研修の効果・必要性に疑義を感じざるを得ない。

再び同じことを繰り返すことの無いようしっかり議会・議員の活動として具現化されることを期待したい。そうでなければ、コロナ禍の厳しい状況の中、わざわざ三宅部長に来ていただいたことが無駄になり、礼を失することになると思慮する。

福島議会に関しては、平成26年全国町村議長会より町村議会特別表彰を受賞し、地方議会人（平成27年7月号）で「北海道福島町議会の議会改革の事績」として、「開かれた議会」を目指した取り組みから、「議会基本条例」制定、その後のさらなる議会改革の状況を紹介されていたことから、三宅部長も十分理解されているものと思っておりますが、講演・資料の内容から疑義が残る点もかなりありました。

議事調査部長から総務部長となり現状を充分把握できていないと思慮されますが、早い機会にお会いし議論できればと思っております。

- 選挙公営化：選挙公報の発行を推進することによる公費節減の可能性追求
 - ・選挙運動用葉書の発行自粛、条例化しないことによる選挙運動用ビラ発行の自粛の可能性、選挙運動用ポスター作成費の実態に合った積算検討
- 持続可能な議会の実現に向けた、個々の議会の主体的な取り組みの実践誘導
 - ・各都道府県議長会の情報発信不足、指導体制の整備、各級議長会役員の議会改革認識の醸成 ⇒ 議会改革の推進加速化
- 「町村議会議員の議員報酬等の在り方最終報告」提示後の積極的取組の推進
- 「通年議会制」のデメリット（執行機関拘束、コスト増加等）は無く、現状をしっかり把握されていないと思慮される。
- 「一般質問答弁書の配布」については、一般質問主旨の解釈が旧態依然となっていないか？
- 「議会基本条例諮問会議」・「議会参画奨励条例」の存在を把握されていないのか？否定されているのか？事例として紹介されていなかったことは残念だ。